

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

- a. 製品名 : QUANTOM™ Total Cell Staining Enhancer  
カタログ番号 : Q13002, Q13005
- b. 物質又は混合物の : 特定用途  
関連する特定用途 : 試験研究用試薬, 化学品製造  
及び使用禁止用途
- c. 製造者 : Aligned Genetics, Inc.  
FL 3, 28 Simindaero 327 beon-gil  
Dongan-gu, Anyang-si Gyeonggi-do 14055  
South Korea  
TEL: +82-31-478-4185  
Fax: +82-31-360-4277  
E-mail: [sales@logosbio.com](mailto:sales@logosbio.com)
- 供給者 : Logos Biosystems Japan 合同会社  
大阪市淀川区西宮原 1-8-24  
新大阪第 3 ドイビル 6F 631  
TEL. 050-6875-7385  
FAX. 06-7635-8605  
E-Mail. [info-jp@alignedgenetics.com](mailto:info-jp@alignedgenetics.com)
- 緊急連絡先 : TEL. 050-6875-7385  
E-Mail. [info-jp@alignedgenetics.com](mailto:info-jp@alignedgenetics.com)

研究目的での利用に限定されています。ヒトまたは動物の診断用または治療目的での利用はできません。

## 2. 危険有害性の要約

### a. GHS 分類

規則(EC) No 1272/2008 に基づく分類  
眼刺激性 (区分 2)  
慢性水性毒性 (区分 3)

## b. GHS-ラベル要素

規則(EC) No 1272/2008 に基づくラベル

危険有害性絵表示



注意喚起語  
警告

危険有害性情報

H302 – 飲み込むと有害

H319 – 強い眼刺激

H412 – 長期継続的影響により水生生物に有害

注意事項

P264 – 取扱後はよく手を洗うこと。

P270 – この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

P273 – 環境への放出を避けること。

P280 – 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/を着用すること。

P301 + P312 + P330 – 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は日本中毒センター、医師/医者に連絡すること。口をすすぐこと。

P305 + P351 + P338 – 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313 – 眼に対する刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けること。

P501 – 内容物/容器を認可された廃棄処理施設に廃棄すること。

## c. その他の危険性

この物質/混合物は、0.1%以上の濃度で難分解性・生物蓄積性・毒性(PBT)または非常に難分解性・非常に生物蓄積性(vPvB)のあると考えられる成分を含まない。

---

## 3. 組成及び成分情報

### 3b. 混合物

構成物質:	営業秘密
CAS 番号:	営業秘密
重量%:	< 5%
化審法官報整理番号:	不明
安衛則番号(別表 2):	不明

---

## 4. 応急措置

- a. **眼に入った場合**  
眼を指で開き、多量の水で少なくとも 15 分間洗い流すこと。医師に相談すること。
- b. **皮膚に付着した場合**  
石鹼と多量の水で洗い流すこと。医師に相談すること。
- c. **吸入した場合**  
吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動させること。呼吸をしていない場合、人工呼吸を行うこと。医師に相談すること。
- d. **飲み込んだ場合**  
嘔吐させないこと。意識のない人には絶対に口から何も与えないこと。水で口をすすぐこと。医師に相談すること。
- e. **一般的なアドバイス**  
医師に相談すること。この安全データシートを担当の医師に提示すること。
- f. **急性および遅発性で最も深刻な症状および影響**  
データなし。
- g. **直ちに医療措置や特別な治療が必要とされる症状**  
データなし。

---

## 5. 火災時の措置

- a. **適切な消火剤**  
水噴霧、耐アルコール泡消火薬剤、粉末消火薬剤、炭酸ガスを使用すること。
- b. **火災時の特有の危険有害性**  
炭素酸化物
- c. **消火活動担当者の特別な保護措置**  
皮膚や眼に触れないように、自給式呼吸器と保護衣を着用すること。
- d. **詳細情報**  
データなし。

---

## 6. 漏出時の措置

- a. **個人に対する注意事項、保護具、緊急時の対応**  
適切な個人用保護具を使用すること。蒸気、ミスト又はガスの吸入を避けること。十分な換気を行うこと。
- b. **環境に対する注意事項**  
状況が安全であることを確認してから漏出または流出を防止すること。  
製品を排水口に流さないこと。環境への排出は避けること。

- c. 封じ込め及び浄化の方法・機材  
漏出物を適切な資材で吸収すること。すべての廃棄物を回収し、適用される法律に従って処分すること。
- d. 参照すべき他の項目  
廃棄に関しては項目 13 を参照すること。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- a. 安全な取扱いに関する注意事項  
皮膚、眼、衣服への接触を避けること。常時、推奨された個人用保護具を着用すること
- b. 安全な保管条件  
容器は換気の良い乾燥した冷所で密閉して保管すること。
- c. 特定最終用途  
データなし。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

- a. 管理パラメータ  
コンポーネント別作業環境パラメータ
- b. 適切な技術管理  
適切な産業衛生および安全慣行に従って取り扱うこと。  
休憩前と作業終了時に手を洗うこと。
- c. 個人用保護具

### 眼/顔面の保護

EN166 に適合するサイドシールド付き安全眼鏡を使用すること。NIOSH（米国）または EN 166（EU）の適切な政府規格で試験され、承認された眼保護具を使用すること。

### 皮膚の保護

手袋を着用して作業すること。手袋は使用前に点検すること。本製品との皮膚接触を避けるため、適切な手袋の外し方（手袋の外面に触れない）をすること。使用後、汚染された手袋は、適用される法律および優良試験所基準（GLP）に従って廃棄すること。手を洗い、乾燥させること。

### 身体の保護

不浸透性の衣服を着用すること。保護具の種類は、特定の作業場における危険物質の濃度と量に応じて選択すること。

### 呼吸器の保護

リスクアセスメントにより、空気清浄呼吸器が適切であると判断された場合、工学的コントロールのバックアップとして、多目的コンビネーション（US）または ABEK（EN14387）型呼吸器カートリッジ付きフルフェイスレスピレータを使用する。呼吸器が唯一の保護手段である場合は、全面給気式呼吸器を使用する。NIOSH（米国）または CEN（EU）などの適切な政府規格の下で試験され、承認された呼吸器および構成部品を使用すること。

### 環境ばく露の防止

状況が安全であることを確認してから漏出または流出を防止すること。  
製品を排水口に流さないこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的及び化学的性質に関する情報

a. 物理状態	状態: 液体
b. 臭い	データなし
c. 臭いのしきい値	データなし
d. pH	データなし
e. 融点/凝固点	データなし
f. 沸点, 初留点及び沸騰範囲	100°C
g. 引火点	データなし
h. 蒸発速度	データなし
i. 燃焼性(固体、気体)	データなし
j. 爆発限界(下限)	データなし
k. 爆発限界(上限)	データなし
l. 蒸気圧	データなし
m. 蒸気密度	データなし
n. 比重/相対密度	データなし
o. 水溶性	可溶
p. 分配係数: n-オクタノール/水	データなし
q. 自然発火点	データなし
r. 分解温度	データなし
s. 粘度	データなし
t. 爆発性	データなし
u. 酸化性	データなし

### その他安全に関する情報

データなし

---

## 10. 安定性と反応性

- a. 安定性  
推奨される保管条件下では安定。
- b. 反応性  
データなし。
- c. 危険有害反応可能性  
データなし。

- d. 避けるべき条件  
データなし。
- e. 混触危険物質  
強酸、強塩基、強酸化剤
- f. 危険有害な分解生成物  
その他の分解生成物 - データなし  
火災の場合: 項目 5 を参照すること。

---

## 11. 毒性情報

### a. ばく露に対する主要経路に関する情報

#### 吸入

吸入により有害の可能性がある。

#### 摂取

摂取により有害の可能性がある。

#### 皮膚

感受性がある場合、皮膚に刺激を引き起こす可能性がある。

#### 眼

感受性がある場合、眼に刺激を引き起こす可能性がある。

### b. 短期および長期のばく露による遅発性および即時的な影響、ならびに慢性的な影響

#### 急性毒性

データなし。

#### 皮膚腐食性/刺激性

データなし。

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

データなし。

#### 呼吸器感作性または皮膚感作性

データなし。

#### 生殖細胞変異原性

データなし。

#### 発がん性

データなし。

#### 生殖毒性

データなし。

特定標的臓器毒性-単回ばく露  
データなし。

特定標的臓器毒性-反復ばく露  
データなし。

誤えん有害性  
データなし。

補足情報  
RTECS: データなし

---

## 12. 環境に及ぼす影響

- a. 毒性  
データなし。
- b. 残留性及び分解性  
データなし。
- c. 生体蓄積性  
データなし。
- d. 土壌中での移動性  
データなし。
- e. RPBT および vPvB 評価の結果  
データなし。
- f. 内分泌かく乱作用  
データなし。
- g. 他の有害影響  
データなし。

---

## 13. 廃棄上の注意

- a. 廃棄物処理方法  
余剰およびリサイクル不可能な溶液は、認可を受けた廃棄業者で処理すること。
- b. 汚染された包装  
未使用の製品として廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国連番号	ADR/RID: -	IMDG: -	IATA: -
品名(国連輸送名)	ADR/RID: 非危険物	IMDG: 非危険物	IATA: 非危険物
輸送危険有害クラス(es)	ADR/RID: -	IMDG: -	IATA: -
容器等級	ADR/RID: -	IMDG: -	IATA: -
環境危険有害性	ADR/RID: 非該当	IMDG 海洋汚染: 非該当	IATA: 非該当
使用上の注意	データなし		
IMO 文書に基づくバルク海上輸送		IMDG: -	

## 15. 適用法令

本安全データシートは、規則(EC)No.1907/2006 の要件に準拠する。

- a. 労働安全衛生法に基づく規制  
データなし。
- b. 化学的安全性評価  
本製品に関しては、化学的安全性評価は実施されていない。

### 国内法規

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

## 16. その他の情報

### 引用文献および参照ホームページ等

製品評価技術基盤機構: <https://www.nite.go.jp/index.html#>

経済産業省: [https://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/law/msds/msds62.html](https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/msds/msds62.html)

厚生労働省: [https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankg\\_ghs.htm](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankg_ghs.htm)

### その他の情報

Copyright 2020. Aligned Genetics, Inc. 社内使用目的に限り、紙媒体のコピーを無制限に作成することを許諾する。



上記の情報は正しいと思われるが、すべてを網羅するものではなく、あくまでも目安として使用するものとします。本書に記載されている情報は、当社の現在の知見に基づくものであり、適切な安全予防措置に関して本製品に適用されるものです。製品の特性を保証するものではありません。

Aligned Genetics, Inc.社およびその関連会社は、上記製品の取り扱いや接触によって生じたいかなる損害についても責任を負いません。その他の販売条件については、請求書または荷札の裏面をご参照ください。

End of Safety Data Sheet